

# 個別機能訓練加算Ⅱ 機能改善への取り組み報告 ○ ○ さん

生活行為向上・認知症予防サービス「太陽と鳩たち」  
(No1) 平成30年 4月21日 機能訓練担当 浅野有子

## 自宅での生活行為向上課題：

- 1：咽ずに美味しく自分で食事をする
- 2：両手が上手く使え 家事や趣味や孫たちとの交流ができる（首が安定する）
- 3：転ばずにスムーズに歩き 生活不活発の機能低下をせず体力を保つ
- 4：社会との交流があり希望や意欲を持つことができる病状の変化に対応できる気持ちの強さ柔らかさをもつ

## 自宅状況の評価 支援

4月25日・5月2日 送迎時に評価 支援 通所時の個別機能改善に生みましょう

## 【取り組みの例示・支援】



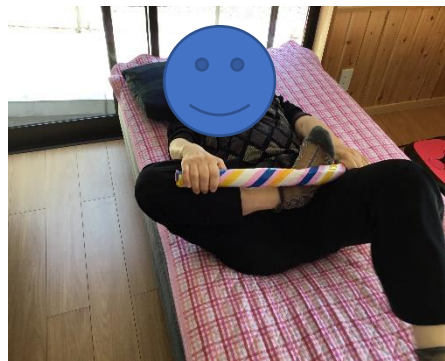
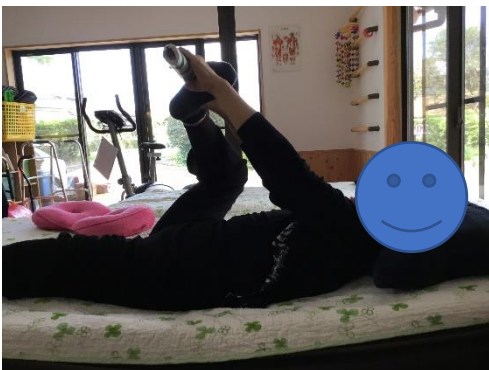
体幹筋群 頸部の支持筋群 を 強めていきましょう

枕を外しての仰臥位で首を後方にしっかりするようにして 腰を持ち上げるようにすることも効果的



肩の周りの筋肉のバランスを整え、肩回りのサポーター機能を安定する。歩行時は手を振って歩けます。時々肩をすくめるようにして肩の関節の亜脱臼を防いでいきましょう

股関節・膝関節の柔軟性・体幹の支持性は転倒予防、転倒時のけがの防止につながります



うつ伏せからの押し出しや もがき練習の中で 小さな子供が発達していくように 衰えがちな首や体肩周囲の支持機能を刺激することができます



肘の位置を調整すると 右手で楽に食事ができます。スプーンの操作や 食器の固定のための 基礎練習として 重いボールを両手を支えにして持ち上げたり回したりという機能訓練も行っていきたいと思います。嚥下機能や咽る力を保つための横隔膜の強化や舌や唇の力や動きのタイミングも練習していきます。ラララで歌ったり、鏡を見ながらの口の周りの機能強化も効果的です



ボールを活用した 上肢・手指・肩・首の動きやコントロールの練習から機能強化を図り 用具や作業方法を工夫しながら 趣味であり 社会参加の課題である紙細工教室の指導者としての活動や家事などの生活行為での可能性を広げていきたいですね。進行する病気であったとしても、良い練習で機能を保ち 活動や参加をあきらめずに有意義な毎日をしていきましょう。



グレーダーやエアロバイクで 体力が落ちないようにしていきましょう 担当介護支援専門員さん 病院の主治医の先生や リハビリの担当の先生とも連携をしながら 状況に応じた 効果的な練習や課題の解決をお手伝いしていきます

**一緒に 健康で活動的な 毎日を目指していきましょう!**